

1. 活動報告（事務局 記）

- 11月5日（日）うべまつりにパネル展示を行い、田村・西原会員が対応されました。
- 11月11日（土）この日の活動はこの25日に開催される厚東川、厚狭川、有帆川の流域を考える会の研修会の「古代蓮」植栽のための場所の造成でした。時には雨の降る中、重機も使い従来の蓮根を泥まみれになりながら取り除き、境目の仕切パネルの打込みと新規土手を製作しました。参加者は16名でしたが、全員土産に蓮根と椎茸を持ち帰って戴きました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

- 9月10日 ネイチャークラブが毎月ビオトープで散策活動をされました。岡田さんよりビオトープ使用の連絡がありました。来月も活動されます。
- 11月25日 厚東川、厚狭川、有帆川協議会行事体験学習会があります。案内役を3名必要としています。

◎ 行事

- 11月25日（第四土曜日）の活動（維持作業）
午後は里山自然観察隊の第8回目の活動（里山の暮らし）
- 12月2日（土）餅つき
- 12月16日（土）（第三土曜日）の活動（蓮根掘りと忘年会の予定）

3、ビオトープ関連（ビオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝**ヤクシソウとアキノノゲシ**

冬が近づき、ビオトープで咲いている花もめっきり少なくなりました。そんな中で黄色い花を咲かせているキク科の2種を今回はご紹介します。

天気の良い日に斜面をにぎやかに黄色く彩っている花、それがヤクシソウです。ヤクシソウは、キク科オニタビラコ属の2年草です。その名前は、葉が薬師如来の光背に似ているからとか、薬草として使われたからとかの諸説ありますが、はっきりしないようです。確かに葉は舌状で根元は広がって茎を抱き、形が光背に似ていると見えます。花は1.5cmくらいの明るい黄色で、つぼみは上向き、花が咲き終わると下向きになります。小花を次々咲かせるので、このヤクシソウが群生している斜面はいつも黄色に彩られています。枝を出して横に広がり、伐採地や崩壊地など日のよく当たる場所でふつうに見られます。ビオトープでは林道沿いや南向き斜面にたくさん咲いています。花が終わると白い冠毛を持った種を付け、風で飛んでいきます。

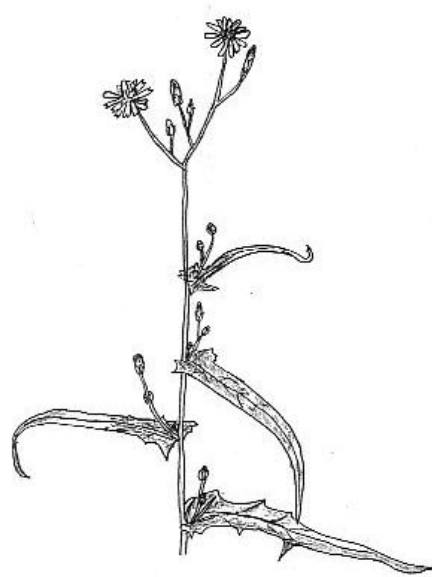
ヤクシソウが斜面に匍匐して枝を広げるのに対し、アキノノゲシは路傍や荒地、草地に直立して生える1年草です。本当は1m以上も大きく成長する植物ですが、今花が見られるのは秋に草刈りされて、その後生えてきた背の低い株です。花色はうすいクリーム色で派手さはありませんが、クローズアップして見るとなかなかきれいな花です。このアキノノゲシ属と同じ属にはおなじみの野菜があります。レタス、サラダ菜などのチシャ類です。チシャは野菜としての栽培の歴史が古く、紀元前4500年のエジプトの墳墓の壁画に描かれ、その後地中海沿岸諸国に広がり、ローマ帝国の最盛期になるとごく一般的な野菜にまで発達したそうです。日本には奈良時代に中国から導入されましたが定着せず、一般家庭の食卓で普通になったのは食卓の洋風化が進んだ戦後

のことです。

アキノノゲシやヤクシソウは、タンポポ科というグループに属しますが、茎を切ると白い乳液が出るのが特徴です。そういえばサニーレタスも葉をちぎると白い液が出ます。そしてレタスをそのままほって置いてとう立ちさせて花を咲かせると、このアキノノゲシそっくりの花が咲くそうです。



ヤクシソウ (キク科)



アキノノゲシ (キク科)

4. ビオトープ関連 (会員の声) (記)

今回は原稿が寄せられませんでした。

次回 会員 をお願いします。

5. 里山自然観察隊 (11月25日に里山の暮らしを予定)

6. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

今月はありませんでした。

7. 会よりの連絡事項

会の活動が二俣瀬校区の行事とも重なる事も多くあります。その都度連絡をしますが、紛らわしいときは何方かに問い合わせください。現在変更が決まっているのは

- ① 12月3日(第一日曜日)は二俣瀬昭和会の年末行事のため12月2日(第一土曜日)この日は収穫祭餅つきで毎年同様変更しています。12月1日はもち米水洗ほか準備もあります。

8. 編集後記

仕事で不在のため、次回とします。

(原田 満洲夫 記)